

2025年度 長野県指名強化審判研修会 報告書

長野県審判委員会

- 1 趣 旨 T 級及び 1 級インストラクターから指導を受け、上級審判員を目指す審判員の意識の高揚と改革をねらい、強化を図る。
- 2 期 日 2025 年 7 月 26 日（土）・7 月 27 日（日）
- 3 大会名 長野県総合バスケットボール選手権大会 2 日目・最終日
- 4 会 場 伊那市ロジテックアリーナ（26 日・27 日）A・B コート
伊那市サンビレッジ体育館（26 日） C・D コート
- 5 講 師 T 級 IR 関口 久視 氏 1 級 IR 中江 洋美 氏
1 級 IR 山内 正隆 氏
- 6 参加者 2025 年度 長野県重点・強化審判員 22 名
- 7 その他
 - ・実技後にミーティングを実施する。
 - ・研修費は 1000 円、聴講費は 500 円とする。
- 8 連絡責任者 長野県バスケットボール協会審判委員 岩月 遼司

9 研 修 会

I. 実技研修

【研修内容】

- ・受講生にて県総合選手権大会の試合を担当。
- ・試合後、映像を見ながら講師よりアドバイスを受ける。



図 研修ゲーム終了後 IR とのミーティングの様子

【実技研修の受講生感想（まとめ）】

今回の講習会では、自分たちのオンザコートでの姿を IR の方々に間近で見させていただき、試合後すぐに映像を使ったフィードバックを受けることができ、大変有意義な時間となりました。プレイコーリングやメカニクスをクルー全体で丁寧に振り返ることで、自分たちの感じ方と客観的な見え方の違いを実感し、より正確な判定への意識が高まりました。また、自分の担当したゲームだけでなく、他の参加者の研修ゲームの講評を聞くことでも多くの学びがあり、さまざまな視点や取り組み方を知ることで、自分の課題や強化すべきポイントを明確にすることができました。

上級の方々とクルーを組ませていただいたことで、自信を持って試合に臨むことができ、設定した目標に対して的確なアドバイスをいただけたことも今後の大きな糧となりました。特に、判定・メカニクス・プレゼン・コミュニケーションなど、総合的な審判技術について具体的にご指導いただき、自分自身を見つめ直す貴重な機会となりました。

講師の皆様、心より感謝申し上げます。今回の学びを今後のレフェリングにしっかりと活かしていきたいと思えます。

実技研修はどうでしたか。

25 件の回答

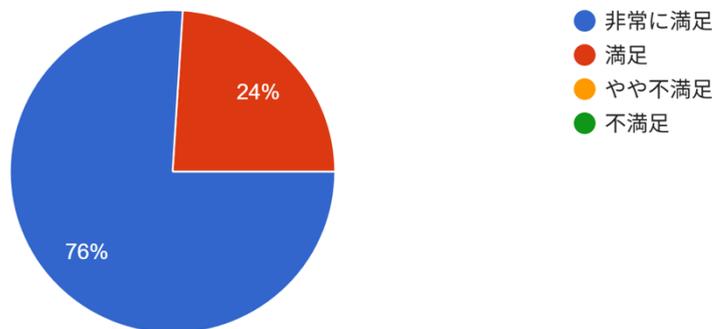


図 実技研修終了後アンケート結果

10 本研修会を終えて

【受講生の感想（まとめ）】

このたび、2日間にわたる研修では、IRの皆様から、現場に即したフィードバックをいただき、大変貴重な学びの時間となりました。プレイコーリングにおけるディフェンスとオフェンスの責任関係を的確に捉えることが、正しい判定に直結するというご指導は、今後のレフェリングにおける重要な指針となりました。同じように見えるプレイの中にも、その背景や責任の所在を見極め、クルーとして共通認識を持ちながら判定に臨む姿勢の大切さを改めて実感しました。

また、ゲームコントロールやプレゼンテーションの面でも、インパクトのあるプレイに対して、プライマリを意識しつつも、時には勇気をもって笛を吹く「決断力」が必要であることを学びました。選手やベンチに信頼されるレフェリーとなるためにも、アクティブにCCメンタリティを発揮し、怖がらずにゲームをリードしていく姿勢を今後も意識して取り組んでいきたいと思います。

研修生の笛を見ていただき、直接アドバイスを受けられたことが非常にありがたく、今後のモチベーション向上にもつながりました。また、他県のレフェリーの皆さんの真剣な姿勢に刺激を受けるとともに、同じ長野県の仲間としての誇りや、負けられないという良い意味での競争心も芽生えました。

さらに、懇親会などでの交流を通じて、「我々の一番の師匠は選手」という言葉に出会い、改めてレフェリーとして選手から学ぶ姿勢の大切さにも気づかされました。

研修会中には、自分の課題である「ローテーションを行う判断」や「大きなコンタクトプレイへの対応」「オンコート外でのコミュニケーション」など、さまざまな壁にも直面しましたが、それを一つひとつ乗り越えるためのヒントをいただきました。いただいたフィードバックをもとに、今後の試合で具体的に表現できるよう努力を続けてまいります。

講師の皆様、運営グループの皆様、心より感謝申し上げます。この学びを長野県、さらには地区全体のレフェリーレベル向上にもつなげていけるよう、引き続き努力していきたいと思います。

本当にありがとうございました。





図 全体に向けて講師・本県審判長からのコメント

【本県審判長 鈴木誠より】

2028年の国スポでは、今回の研修に参加された皆さんが中心となって審判を務めることとなります。そのためには、日々の研鑽によるレベルアップと底上げが欠かせません。今回の研修会では、講師の方に継続してご指導いただき、前年度からの成長の度合いを今年度にフィードバックしていただけるといふ、大変貴重な機会を得ることができました。ここで学んだことをそのままにせず、コート内で学んだことを体現するようにしてください。また、得た知識や技術を各地区に持ち帰り、長野県全体のレベル向上につなげていきましょう。これからも、国スポやさまざまなゲームの場を通じて実践を重ね、さらなる成長を目指してください。

【本県重点審判員より】

【竹内 健司】

講師の皆様には、本県の審判員に対し熱いご指導、的確なアドバイス等、本当にありがとうございました。また、講師である関口さん、中江さん、遠い所ご足労いただきありがとうございました。関口さんにつきましてはここ何年もこの「指名強化研修会」に継続して見ていただけること、本当に感謝申し上げます。中江さんはブロック大会でお話する機会がありましたが、今回は会場や懇親会で現役レフリーである中江さんの貴重なお話が聞けることができ、充実した2日間となりました。本当にありがとうございました。

実技研修では、メカニクスやプレイコーリングの視点を細かくご指導していただけたこと、何より「常にレフリーは見られている」ということを意識してコートに立たなければいけないと感じました。一方のコーチに話す場合があるときは、もう一方のコーチにもその内容を伝えることや、選手やベンチからレフリーに対してコミュニケーションを求められる等、レフリーがゲームを進めていく上で、選手やベンチどう伝えていくのか…（言わせっぱなしにしないためにはどうしなければいけないのか…）社会人ならではのゲームで学ぶことがたくさんありました。また、クルーチーフとしてゲームをリードしていく、クルーワークを発揮し、ゲームコントロールの重要性を改めて痛感したゲームとなりました。

「ん」って思うプレイや粗暴なプレイ等、必ずインプットしておくことが重要。そのプレイが同じように繰り返さないためにメスを入れる。また、やられているオフェンス選手が次、ディフェンスで何かやらないか…そこまでがワンセットと捉え、ゲームフローを感じて現場で決断できるように色々なゲームを吹いたり、映像分析をしたりして探求していきたいと思います。

自身の課題ある CC としてゲームをリードしていくために必要なゲームコントロール、選手やベンチのインテンシティコントロール（コミュニケーションの取り方）等、ゲームを安心して任せられ存在感あるレフリーを目指し研鑽していきます。有意義な研修会となり本当にありがとうございました。

【関 凌郁】

講師の皆様、本研修会にお越しいただきありがとうございました。毎年の研修会が充実したものになっているのは、継続して見ていただける講師の皆様のおかげです。

私は、CC としての存在感が自分には必要だと感じていました。CC としてできること、また求められることを研修会の中で学ぶことができました。自分がプライマリーを吹くことだけでなく、クルーへのタイムアウト中の声かけ、質の悪いプレイに気づくことなど私の弱さを変える方法をたくさん知ることができました。また、ビックインパクトを決めることの大切さも改めて感じることができました。そのために、ベーシックなメカニクスを徹底し、クルーで協力してゲームをまとめることをこれからさらに丁寧に取り組みたいと感じました。選手のインテンシティコントロールやベンチコントロールが必要な場面も振り返りで教えていただき、起こっているプレイを放置せず、自分が積極的にゲームに関わっていくという、普段自分があまりアンテナを張っていなかったことについて知ることができ、コートで実践できるようこれから意識して取り組みたいと思いました。

研修会を通して、次のライセンスやレベルの高いゲームを吹く上で必要なことを学ぶことができ、今後のゲームに活かせることをたくさん発見できました。自分の弱みをしっかり見つけ、一緒に吹くクルーにとっても、選手にとっても、良いレフリーを目指していきたいと思います。今年度も大変有意義な研修会になりました。講師の皆様に変更して感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

【佐藤 快】

関口さん・山内さん・中江さんをはじめとした講師の皆様には、暑い中会場で受講生の審判姿を手厚く見ていただき、大変学びの深まるお言葉を頂戴しました。JBA のインストラクター長として最前線で審判員の育成にご尽力されている関口さんと、トップリーグで長らくご活躍されている山内さん・中江さんのご自身の経験からのアドバイスや今後、よりよくなるための的確なご指導は受講生全員の今後の成長につながるはずです。本当にありがとうございました。

当たり前のことを淡々と行うことが後々自分の強みになるということを教えていただきました。ベーシックなことをシンプルに行うことが大切であり、特別に何か行うことよりもまずは第一に意識しなくてはならないのだと痛感しました。

観客をはじめとした周りの方々からの見られ方という面で、まだまだ私自身未熟であると学びました。スプリントや CtoC、リードにシャープに入っていくことはできていて印象が良いというお言葉をいただきましたが、自分の経験がまだまだ浅いことからベンチ管理の部分で課題が残りました。コミュニケーションでは「聞き入れる」という姿勢を継続させて試合を進めていたことで、観客がベンチに対して疑念を抱くような言動があった際に「強く」対応することができず、言わせすぎという印象を持たせてしまいました。話を聞いてコミュニケーションを取っていくことを意識しつつも、周りから見て疑念を抱くような言動に達していた際には「強く」対応しベンチを管理していくということを今後は行って

いきたいと思いました。そういった面は遠慮することなくゲームを引っ張っていくうえでやるべきことであるため臆することなく実践していきたいです。

自分の強みを今後より一層確立させていくために必要なことを学ぶことができ、自分自身の周りからの見られ方という視点を育成していくことが見せ方やベンチコントロールといった面で大変重要であると感じることができました。スプリントやフレッシュさなどの若さが生かせる部分を存分に発揮しつつ、ベーシックなことを常に行って「強さ」のある審判員になれるように研鑽を積みたいと思います。

改めて、大変学びの深い研修会をありがとうございました。



図 講師と研修生で写真撮影